

豊かで 住みよい 町づくり



議会だより

2014. 5. 1 発行

上勝

3月 定例会

- 2P 定例会
25年度補正予算
- 3P 26年度予算
- 4P 主な質疑
- 5P 一般質問
7名が町政について質問
- 12P まちのようす

平成26年度 一般会計予算

質疑討論の結果
5 対 2 で可決

総額

27億 7,800万円

主な支出

● (株)上勝バイオに出資 2億6,000万円

● 養護老人ホーム 入所者措置	1億 1,872万3千円	● 地域おこし協力隊(8名分)	1,584万円
● 道路工事 (剣山線割谷・瀬津野尻線)	1億550万円	● 旧井岡宅(福原)を シェアハウスに改装	1,320万円
● 町営・スクールバス 運転業務委託	4,039万9千円	● 県道剣山線維持補修	1,180万円
● 喰田住宅2棟新設	4,000万円	● 喰田住宅外壁塗装修繕	1,140万円
● しいたけ分別画像処理装置購入	2,400万円	● JA東とくしま福原事業所 土地購入・建物改修	860万円
● 国民総番号制度システム 適用業務	2,000万円		

平成26年度 特別会計予算

質疑の結果可決

● 平成26年度 介護保険	3億5,916万9千円
● 平成26年度国民健康保険(事業勘定)	2億7,000万円
● 平成26年度国民健康保険(診療施設勘定)	1億 1,046万3千円
● 平成26年度国民健康保険(福原診療施設勘定)	2,779万2千円
● 平成26年度 後期高齢者医療事業	4,431万9千円
● 平成26年度 東地区簡易水道事業	3,384万円
● 平成26年度 西地区簡易水道事業	1,600万円
● 平成26年度 いっきゅう地区簡易水道事業	1,500万円
● 平成26年度 奨学資金	360万1千円
● 平成26年度 高鉾財産区	80万円
● 平成26年度 福原財産区	80万円

条例改正

一般会計補正

一般会計予算

諮問・発議・請願

国民健康保険税条例の
一部を改正
全員異議なく可決

常勤の特別職の給与及
び旅費支給に関する条
例の一部改正
全員異議なく可決

教育長の給与勤務時間
その他勤務条件に関す
る条例の一部改正
全員異議なく可決

単独住宅の設置及び管
理に関する条例の一部
改正
質疑討論の結果
5 対 2 で可決

簡易給水施設条例の
一部を改正する条例
全員異議なく可決

町道路線の変更

全員異議なく原案可決

諮問

人権擁護委員の推薦に
つき意見を求めること
について
原案推薦可決

議員発議

平成26年度一般会計予
算修正動議
質疑討論の結果
5 対 2 で否決

第3セクター調査研究
特別委員会の設置
全員異議なく原案可決

請願

提案 明本議員
住民の安全・安心を支
える公務・公共サービ
スの体制・機能の充実
を求める請願書
質疑討論の結果
6 対 1 で不採択



美馬一之氏

任期
平成26年7月1日より
平成29年6月30日まで
人権擁護委員の
任命に同意しま
した。

25年度 一般会計補正予算

質疑討論の結果 5 対 2 で可決

歳入歳出補正 2,829万1千円を追加

総額

30億6,242万6千円

主な
補正内容

農林水産業費

● 国土調査事業費(委託料境界抗)	1億2,378万6千円
● 森林基盤整備事業費(葛又神明線)	3,000万1千円
● 森林管理道用木製看板設置事業	660万円
● 林道建設費(生実八重地線)	160万円

25年度 特別会計補正予算

全員異議なく可決

国民健康保険(事業勘定)

補正額
220万4千円

総額
2億8,844万8千円

介護保険

92万4千円

3億5,769万1千円

国民健康保険(診療施設事業勘定)

18万円

1億609万2千円

国民健康保険(福原診療施設勘定)

△1千円

2,793万円



議員 明本 恵一

25年補正予算

主な質疑

明本議員 農業振興費が減額されている。

山田産業課長

委託料で彩マニユアル作製が中止になった。
新規就農者が10名しかいなかった。

松下議員 シェアハウス事業の内容は。

桑原企画環境課長

温泉横田井岡宅の購入費・設計費である。

渡部議員 3セクの使用料減免が当たり前になっている。払える額を検討せよ。

花本町長 決算を見て検討している。

藤田議員 土地貸付収入が減額されているが。

山田産業課長

もくさんの使用料減免したためである。

主な討論

反対 明本議員

3セク施設使用料減免について赤字・黒字に関係なく厳正に実施すべきであり、この項一点について認められないので反対。

賛成 松下議員

使用料の支払は必要であると思うが、全協でやむを得ないと判断した。次年度は努力してもらうことを条件に賛成する。

反対 渡部議員

使用料に関して6年前から同じ状況である。親方日の丸体質が変わらない。転換を図らないとだめである。

町単独住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

主な討論

反対 渡部議員

単独住宅に入居できる者の条件を変えれば賛成する。

賛成 藤田議員

町長の説明を理解できた。

反対 明本議員

以前からの住宅に窮している人のための住宅であるべき。立派な住宅建設はマイホーム建設を疎外する。

賛成 鹿島議員

同じ住宅に入って家賃が違うのは不公平。



JA東とくしま福原事業所

26年一般会計

主な質疑

明本議員 上勝バイオの赤字補填はしない約束になっていたが。

花本町長 上勝の重要課題であり、再建に向けて最大の努力をする。解決のためである。

渡部議員 しいたけ画像処理装置の導入目的は。

花本町長 人件費の削減であり、900万の節減になる。40%を人件費が占める。

鹿島議員 上勝バイオの過疎債処理後の再建策は。

花本町長 上勝バイオより再建策は3方式が出されている。

松下議員 委託料のシルバー人材センター運営費は。

桑原住民課長 主にシルバー人材センターの職員の人件費である。

岩本議員 JA福原事業所を400万円で購入か。

花本町長 この金額で決定した。

武市議員 商工業振興補助金事業とは。

山田産業課長

上勝町商品券である。

渡部議員 福川住宅を公営から町営にすると町外に仕事を持つ人、仕事をしていない人は入れない。

花本町長 公営のままで収入により不公平が生じる。又、家賃上限を3万5千円から4万5千円ぐらいにしたい。

26年一般会計予算修正案

(株)バイオ関連予算2億8,800万円を削減

主な討論

反対 藤田議員

一からの出直しでやってみよう。

賛成 渡部議員

雇用が目的なのに機械を入れて人を減らす。見込みのある他の事業への投資ができなくなる。

反対 武市議員

助成をすると過去と同じことを繰り返す懸念もあるが、特別委員会を設置し審査するので反対。

原案

反対 明本議員

赤字補填は理由がない。3セ

クの失敗は甘い見通しのせい。

賛成 岩本議員

バイオの赤字を放置しておく町内外に重大な影響が出る。負債をゼロにして次の段階に進むことが最善策。

発議

●設置する特別委員会の名称
第三セクター調査研究特別委員会

●設置理由

(株)上勝バイオ、(株)もくさんは赤字続き、(株)かみかついきゅうも経営が安定しない。3社とも設立当時の目的、計画とはかけ離れた経営実態となっている。

議会もこの重要事態に対処するため、全議員による特別委員会を設置する。

請願項目

防災対策など住民の安全安心を確保するために必要な、国の出先機関や独立行政法人の体制・機能の充実をはかる事。

質疑

渡部議員 国の出先機関は適当ではない。

明本議員 国が保障すべきで充実必要。

松下議員 独立行政機構はたくさんあり、天下りの温床になっている。

3セク最大の危機 打開策は

1年間の町行政は

問 この1年、公約だった「住民の声を聞く」町政をどうすすめたか。

答 花本町長 個別には、いろいろ聞き予算に反映した。公約した町政懇談会は25年度は開けなかったが26年度には開く。

深刻な経営危機

問 危機に陥った3セクの整理についての総務省「抜本改革指針」どう受け止めているか。

答 花本町長 事業継続の是非を判断し、抜本的改革に取り組む事が求められている。特に上勝バイオ・もくさん・上勝いきゅうの3社は経営改善が求められている。

問 上勝バイオは連続赤字で債務超過だ。もくさんも展望が見えない。両社は整理統合しては。

答 花本町長 業種的に支障をきたす。難しい。

問 当初予算に計上している上勝バイオの支援策2億6,000万円は何に使うか。また、債務の連帯保証人は誰か。

答 花本町長 全額バイオへの出資金とする。最も大きい長期債務は1億1,700万円で元社長長の吉成氏、他役員。最近のものは私と影山社長が債務保証している。

光ファイバーの契約更新

問 I・R・U契約（破棄できない使用権）10年の期限を前にして、25年度は何を何回検討したか。また出席者は誰か。

答 横山総務課長

次期システムの提案を受け7回会合した。出席は両町の担当課長、担当者、N・T・T、テレビ徳島等である。

問 現行I・R・U契約はネット接続の手段を持たない高齢者から接続料を取るなど不当な内容だ。次回は改革すべきだ。また、サービス業者は改めて競争入札で決すべきだ。

答 横山総務課長

いま勝浦町と協議中だ。素案が出れば議会と協議させて頂く。

問 I・R・Uは不公平を10年間にわたって存続させた。次期契約はI・R・Uを止めるべきだ。

答 横山総務課長

まだ、骨格が決まっていない。こちらだけで回答はできない。素案が出れば協議したい。

高齢者の福祉 敬愛と尊厳

問 高齢者人口が転出や死去により激減している。上勝町の人口が減少している。人口の動きは。

答 桑原住民課長

2月末現在の町人口は1,799人。高齢者909人（高齢化率50・53%）。直近1年間で転出8人、死亡47人、転入4人、計51人の減少となった。

問 私は、高齢者の福祉増進と、負担軽減について今年度も幾つかの提案をしたが、町長は取り上げなかった。高齢者を敬愛の精神で見ると。福祉を増進すべきだ。お年寄りは厳しさが増幅する一方だ。町長の考えは。

答 花本町長

高鉾公民館のエレベーターなど提案している。次の一手は町政報告会等も開き、提案頂き検討したい。

小水力おこし 町の財源に

問 小水力で町の財源を生み出す実例がある。木頭や佐那河内でも取り組んでいる。上勝町では前進が見られない。

答 花本町長 上勝町は自主財源が裕福でなく、解決すべき課題が山積している。一つ一つやるしかない。



活用しよう水の力



鹿島 國男 議員

問 災害時に県も食料を準備すると言っているが本町は。

答 横山総務課長

アルファ米、主に五目御飯を1,700食用意している。

問 アレルギー対策は。

答 横山総務課長

できていない。今後準備したい。

アルファ米主に五目御飯
1,700食

総務課長

災害で孤立した時の食料は

鹿島

問 保管場所は。

答 横山総務課長

非常食は、コミュニケーションセンターと旧福原小学校の体育館、毛布はコミュニケーションセンターと支所。

問 避難のマニュアルはできているか。

答 横山総務課長

現在防災計画を見直し中で、26年度中に完成予定。

問 防災ヘリやドクターヘリの発着場所は町内に何か所あるか。

答 横山総務課長

正木の診療所前、福川グラウンド、福原公園、旭運動公園、スーパールに2カ所、どこに降りるかは、その時のパイロットの判断にまかされている。



喜びの卒業式（小学校）

出生祝金を増額しては

問 出生祝金はいくらかもっと増額しては。

答 桑原住民課長

第1子2万円、第2子3万円、第3子以降10万円、他町村と比べても平均並であるので、この金額で持続したい。

若者住宅の現状と今後の計画は

問 福川に2戸建設中であるが、まだまだ足りないように思うが、今後の計画は。

答 中原建設課長

福川に2戸建設中である。新年度予算で喰田住宅横に2戸予定している。また、上勝百貨店の横と正木タムの旧官舎を購入予定している。今後入居者状況を見ながら対応したい。



武市 功 議員

武市

町長

花本町政新年度への独自カラーは

若者定住と3セク再生等

問 住民目線の町政運営1年を振り返り新年度予算にどう反映されたか。

答 花本町長

人口が1,800人を切った現在、後継者育成、若者定住が急務、住宅施策と地域経済を守るため、第3セクターの再生、公共施設の借地解消を進めたい（旭僻地集会所、上勝公民館）。高鉾公民館のエレベーターの検討、槻地地区の簡易水道事業の調査等を予算化。

問 地域おこし協力隊の活動効果は。

答 花本町長

6名が活動中、自らが産業創出して自立できる活動まで

は至っていないが、一定の目標を決め具体的な取り組みが始まりつつある。集落住民や支援団体の協力で定住できる人材に育てて行きたい。

問 地元Uターン者への優遇施策は。

答 花本町長

若者への施策は、青年就農交付金でインターンを含め現在10名、高齢者Uターンについては青年就農交付金のような事業はなく町単独としての施策は財源的に難しい。

問 教育振興計画は。

答 花本町長

少子高齢化が進む本町、複式学級が避けられない状況、県にも要望をしているが、町独自でも解消を図る。教育委員会で教育振興計画が策定されたところである。教育委員会の意見を踏まえ最大限努力する。

問 上勝バイオ、経営検討委員会の結果は。

答 花本町長

椎茸市場の低迷の中、多くの改善効果、再生をする上で債務改善が不可欠、バイオにかわる企業の設立は難しいとの答申。

町特産「ゆこう」25年度も出荷できない状況があった

問 町として6次産業化等への取り組みは。

答 花本町長

ゆこう消費宣伝協議会、J Aとか団体の意向を踏まえ検討せざるをえない、町独自の具体的な案はない。

問 林業振興施策は。

答 花本町長

県内に大型製材工場ができ、県も供給を約束、その動向



町道市宇線入口

を見極める必要、森林の境界明確化事業。

林道生実八重地線 檜原一市宇線へ結べないか

問 集落間連絡道の推進状況は。

答 中原建設課長

神明杉地線林道が当初計画の終点に到達、林道杉地喰田線へ接続事業を予算計上。

問 工事が進んでいる林道生実八重地線を、効果的に接続するため、檜原を経由して市宇地区へ継続した連絡道計画等の考えは。

答 花本町長

檜原から250メートル、市宇からは300メートルの高低差が

荒廃した空き家対策に名案は

あり総延長3キロメートル工事に机上論として概略ルートを入れている。地権者の理解と、地形、地すべり地域指定等の課題がある。

問 集落景観整備で、空き家等の取り壊し等へ助成措置は。

答 桑原企画環境課長

防災、環境、税制等多岐に関係する。廃屋撤去には税金等維持経費の増大が懸念される。持続可能な美しいまちづくり基本条例施行規則の実施にも合わせ検討。

集落再生プラン事業で実行していく方向で自治組織内の合意形成と、所有者の理解をいただく働きかけが必須であり、国のほうでも空き家対策について指針策定の予定があり、地域と随時協議しながら検討していきたい。

その他、代替バス乗り場の変更等について質問。



藤田 欣宏 議員

問 未婚の男女がいる中で結婚のお世話ができれば、礼金を出しては。

人口減少の対策は

答 花本町長 お世話をしていた人への支援は決して悪いとは思ってないし、教育長からもキューピットもカップルができれば報奨金というのではないが何か考えようと、そういうことは非常に大切なことと考えている。町内に入って来て

行政としても支援

町長

後継者等の結婚対策は

藤田

いただくことについても行政としてもしっかりやっていかなければと思っている。

婚活活動は

問 婚活活動に教育長が指導されている事があった。活動指導された中で考えは。

答 柏木教育長

教育委員会としても重点課題とし24年に上勝キューピット組織を立ち上げ、今年度は広報でも出している結婚相談会を8回（高鉾公民館）若者主催でのイベントを3回実施し、少しずつではあるが成果も出てきつつあると報告もあり、委員会としても上勝キューピット、行政当局とも十分連携しながら前向きに取り組んでいきたい。

答 横山総務課長 現在上勝町消防団には女性消防団員11名が加入し、本団つけの形で活動していただいており、報酬は男性団員と同じ形で支払いをしている。

問 条例の中で女性消防団はないのだが、報酬等はどのようになっているのか。

答 横山総務課長

内容的には今の現状と、どういうふうな報酬を支払っているのか、どれくらいの金額を支払っているのか、というような簡単な調査であった。

消防団員の報酬は

問 3月7日の徳島新聞に報道されていた、総務省消防庁の調査はどのようなものであったか。

産業振興について

問 町より産業振興の環境として苗木等の補助をしたが、金額はどのくらいか。

答 山田産業課長

21年度より彩苗木、花木のオウゴンヒバ苗木、香酸かんきつ苗木補助をして来た。彩苗木とオウゴンヒバ苗木は21年から24年の4年間で件数49件、金額23万8,000円、香酸かんきつ苗木も4年間で59件、金額206万円、25年度後期分概算であるが彩苗木27件、金額147万4,000円、香酸かんきつ苗木13件、金額24万8,000円となっている。



今年度植付けしたK農家のオウゴンヒバ

他、森づくり事業、広域農道、町長出張時の車についてを質問した。

問 今後も応援してくれるのか。

答 山田産業課長 26年も補助する予定である。



岩本文昭 議員

問 ふるさと納税基金別の金額は。

答 細束会計管理者

寄付者の意向を尊重しふるさと創生夢基金に115万円、高齢者福祉推進基金に2万円、ごみゼロ、ゼロウェイスト推進基金に10万円、教育振興基金に28万円を3月末に積み立てる予定である。

問 納税された方へのお礼は。

答 細束会計管理者

お礼状と5万円以上ご寄付いただいた方には3,000円程度のギフトセットをお送りしている。

ふるさと納税の現状は

岩本

8名の方より155万円である

会計管理者

後継者対策

問 本町もお礼として上勝の特産品を送りすれば喜ばれ、特産品の販売にもつながるのでは。

答 桑原企画環境課長

今年からいくつかの見本を作りPRには欠けるかもしれないが、寄付者の意向に沿う物をお送りしている。

問 上勝町持続可能な美しいまちづくり条例にある自治組織が後継者の支援とは。

答 森副町長 施行規則を策定中であるが原則として、集落再生プラン支援補助金により実施したいと考えている。後継者の確保に取り組んでいるさまざまな団体とも連携を図りながら支援して行く。

問 町外勤務通勤者に対する支援策は。

答 森副町長

町外通勤者に対する支援は若者定住とか町の活性化には非常に有効であると考えている。ただ課題も多い。例えば後継者の定義、年齢の範囲、支援する期間、内容と色々問題もあるが、先進事例も参考にしながら具体的に検討して行く。



剣山線舗装

梅瀬地区の飲料水問題

問 以前から問題視しているが梅瀬地区において飲料水が困窮している。水源地在がむつかしいのであれば、西簡水を延長してはどうか。

答 中原建設課長

西簡易水道の区域拡張を事業化検討したが、費用が高額になり対効果から事業化は難しい。少量

でも地元での水源地確保に努めてほしい。確保できれば調整を図って行きたい。

答 花本町長 梅瀬地区で低い所が7戸ある。事業費の概算は一戸当たり800万円かかる。

町長の町政報告会の予定について

問 就任時の約束でもある町政報告会の具体的な予定は。

答 花本町長

当初から2年に1回位、開催したいと考えていた。26年度はその年に当たる。27年度の当初予算に反映できる時期が良いと考えている。6月の総代会に提案させていただくが、お盆過ぎから9月議会開催までの時期が適当ではないかと考えている。役場内の調整もして実施して行きたい。



渡部 厚子 議員

問 桑原企画環境課長
実験機は高額な修理が必要なので停止中。実際の運用には、設置用地の取得、ガス及び液

答 桑原企画環境課長
実験機は高額な修理が必要なので停止中。実際の運用には、設置用地の取得、ガス及び液

問 桑原企画環境課長
実験機は高額な修理が必要なので停止中。実際の運用には、設置用地の取得、ガス及び液

答 桑原企画環境課長
実験機は高額な修理が必要なので停止中。実際の運用には、設置用地の取得、ガス及び液

問 桑原企画環境課長
実験機は高額な修理が必要なので停止中。実際の運用には、設置用地の取得、ガス及び液

答 桑原企画環境課長
実験機は高額な修理が必要なので停止中。実際の運用には、設置用地の取得、ガス及び液

問 桑原企画環境課長
実験機は高額な修理が必要なので停止中。実際の運用には、設置用地の取得、ガス及び液

答 桑原企画環境課長
実験機は高額な修理が必要なので停止中。実際の運用には、設置用地の取得、ガス及び液

上勝町ルート観光の基本的考え方は

松下

アート作品を巡るスタンプラリー等 各種団体と連携

町長



松下 和照 議員

問 大北萱木屋地区に「森林のあがりはな」が完成、すでに出来ている5地区のアート作品を結ぶルート観光をどう考えているのか。

答 花本町長 平成19年度完成の5ヶ所のアートプラス2作品並びに町内観光施設を結んで、スタンプラリーを実施。500名の参加があった。引き続き「森林のあがりはな」並びに棚田・彩の見学・高丸山・山犬嶽等々を巡るツアー、各種団体と連携して交流人口増を目指していきたい。

問 具体的活用として町内の良好な地域と連携した観光、案内人制度、観光窓口の統一、経済効果も望むがどうか。

答 桑原企画環境課長
交流人口と経済効果も重要、企画ツアーによって商店の売上も増加。内容として上勝の生活スタイル、集落の歴史・文化、案内人の育成も必要。観光施策の窓口一本化については町よりの財政支援も必要。町産業の振興にも繋がっていくと思うので、各課と検討してまいりたい。



生実 東明寺
アララギ大木

問 町が指定している町の木「アララギ」町の花「リンドウ」町の鳥「セキレイ」の保護PRはどのようにしているのか。

答 横山総務課長
リンドウについては、小松島西高校勝浦校よりパイオ苗を各企業に配布して貰っている。アララギ、セキレイについては特に保護PRはしておらず、記念誌に掲載程度である。

自然エネルギー 動きは

問 太陽光発電、現在町内での公的、一般民家及び町より助成をうけた民家の発電量はどの位か。小水力発電の進めぬ要因は。

答 桑原企画環境課長
公的施設は上勝バイオ他小中学校等で169キロワット、一般家庭は27戸142・5キロワット。町より助成をうけた分は15戸103キロワットである。小水力発電については、水利権問題や夜間の騒音、維持管理費等に問題あり。

参考記述として、アララギは生実東明寺と大西権現に大木があり、リンドウは蛇紋岩層の草地に自生、セキレイは3月、5月民家で巣架し、水辺でよく見かけられる。黄色、白色2種類が町内では多い。(松下)

学校教育について

問 平成25年度小・中僻地教育推進大会の成果と今後の提言、ふるさと教育の進捗は。

答 柏木教育長
昨年10月29日、県内学校関係者多数参加のもとに、上勝町小・中学校の取組み発表が行なわれ、文科省教科調査官から非常に良かったとの評価を頂いた。成果として、人々の知恵、思いや願いに気付くこと、又地域への愛着が高まった。子供達の話しあいの深まりが見られ、次の活動に発展し易くなった。今後聞く力の育成、保育所・中学校との連携が課題。ふるさと教育については県下でも最先端を自負している。

町営住宅入居者選定は条例どおり公募で

渡部

町長

私が判断する

問 条例で入居者は公募で決めるとあるが、ずっと公募していない。

答 中原建設課長
公募はあくまで基本で、町内部で協議して決める。

問 条例は町長が好き勝手をしていないか。

答 花本町長 個人的な考えで入居者を拒否したことはない。

問 国の補助事業でし尿生ゴミによるメタンガス、液肥発生装置の実験をした結果が出た。

答 桑原企画環境課長
しかし、液肥もメタンガスも利用が進まなかった。その後、検討は続けているか。



放擲された実験装置（日比ヶ谷）

問 肥の全量使用の方法が問題となり、非常に難しい。

答 花本町長 一番の原因は木が町内で集まらなかった。

問 木が出ないなら、なぜ出ないのか考えるのが町の仕事だ。また、大企業に影響されない町内の木質利用循環の計画を早急に立てるべきだ。

答 花本町長 全くしないと言っていない。森林の再生も私の願いだ。総合的に判断しないと難しいということだ。

個人情報情報が漏れた 公務員法で教育してある

町長

問 町に情報をもらいに行った個人の情報が、情報に漏れた組織にすぐ伝わってしまった。

答 花本町長 職員は職務上知り得たことをみだりに公表してはいけないと必ず教育している。

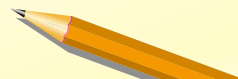
問 それでも漏れてしまった。情報を求める人は町政に関心を持っているということだ。そういう人を大切にしなければならぬ。

答 花本町長 情報はどんどん公開し個人の名は漏れないよう重々注意してほしい。(渡部)

問 その他、光ケーブルのNHK衛星放送加入契約についても質問した。

答 花本町長 全くしないと言っていない。森林の再生も私の願いだ。総合的に判断しないと難しいということだ。

まちのようす



小学校 入学式



中学校 入学式



府殿の菜畑



たんぽぽ移植 (横峯集落再生)



福川地区敬老会



日本の里百選 (八重地)

編集後記

2階の窓の外には桜が咲き、
花見の季節になりました。

議会だよりを読んでいる人
達が幸せなのか、作っている
私達が幸せなのか。少しでも
皆さんの役に立っていると信
じて、今日も編集に悪戦苦闘
しています。

(鹿島)



集落修景作業 (生実)